

■ 節電行動計画	事業者名	緑ヶ丘病院	責任者名	菅野 喜與

節電目標	前年最大需要電力15% (50kw) 削減	節電実績	
------	-----------------------	------	--

5つの基本アクション		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・各部門毎に部屋の照明は半分程度にする。	4%	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリアは消灯を徹底する。	4%	<input type="checkbox"/>
空調	・病棟、外来、診療部門、デイケア、厨房、管理部門毎に適切な温度設定を行う。	1%	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリア(外来、診療部門等の診療時間外)は空調を停止する。	1%	<input type="checkbox"/>
	・日射を遮るために、ブラインド、ひさし、すだれ等を活用する。	1%	<input type="checkbox"/>

さらに節電効果が大きい以下のアクション			
空調	・室内のCO ₂ 濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取り入れ量を調整する(外気導入による負荷を減らすため)。	2%	<input type="checkbox"/>

メンテナンスや日々のアクション			
照明	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明等に交換する。		<input type="checkbox"/>
	・病棟では可能な限り天井照明を消灯し、スポット照明を利用する。		<input type="checkbox"/>
空調	・フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。		<input type="checkbox"/>
	・搬入口の扉やバックヤードの扉を必ず閉め冷気流出を防止する。		<input type="checkbox"/>
コンセント動力	・電気以外の方式(ガス方式等)の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。		<input type="checkbox"/>
	・調理機器、冷蔵庫の設定温度の見直しを行う。		<input type="checkbox"/>
	・電気式オートクレープの詰め込み過ぎの防止、定期的な清掃点検を実施する。		<input type="checkbox"/>
その他	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグを適時コンセントから抜く。		<input type="checkbox"/>
	・自動販売機の管理者の下、省エネタイプへ機種変更及び冷却停止時間の設定		<input type="checkbox"/>
	・停電における自家発電の整備及び燃料の備蓄。		<input type="checkbox"/>

医療機関関係者への節電の啓発			
節電啓発	・節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。		<input type="checkbox"/>
	・節電担当者を任命し、責任者(病院長・法人本部長等)と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを定期的実施する。		<input type="checkbox"/>